

株式会社ナガワ

# 決算説明資料

— 2026年3月期 第3四半期 —

2026.01.26

2026 年 3 月期 第3四半期  
決算概況

# 決算概況 – B/S

	連結	単体	単体	YonY	
	FY2024 Q3 23年4-12月	FY2025 Q3 24年4-12月	FY2026 Q3 25年4-12月	増減	増減率
単位：百万円					
流動資産	20,112	19,626	23,416	3,790	19.3%
貸与資産	13,428	14,477	15,116	639	4.4%
固定資産	42,100	49,561	54,264	4,703	9.5%
<b>総資産</b>	<b>62,213</b>	<b>69,187</b>	<b>77,681</b>	<b>8,494</b>	<b>12.3%</b>
流動負債	4,074	5,110	5,023	△87	△1.7%
<b>純資産</b>	<b>57,050</b>	<b>61,830</b>	<b>68,547</b>	<b>6,717</b>	<b>10.9%</b>
自己資本比率 (%)	91.7%	89.4%	88.2%	-	-
1株当たり純資産 (円)	3,629.16	3,935.90	4,387.03	451.13	11.5%

# 決算概況 – P/L

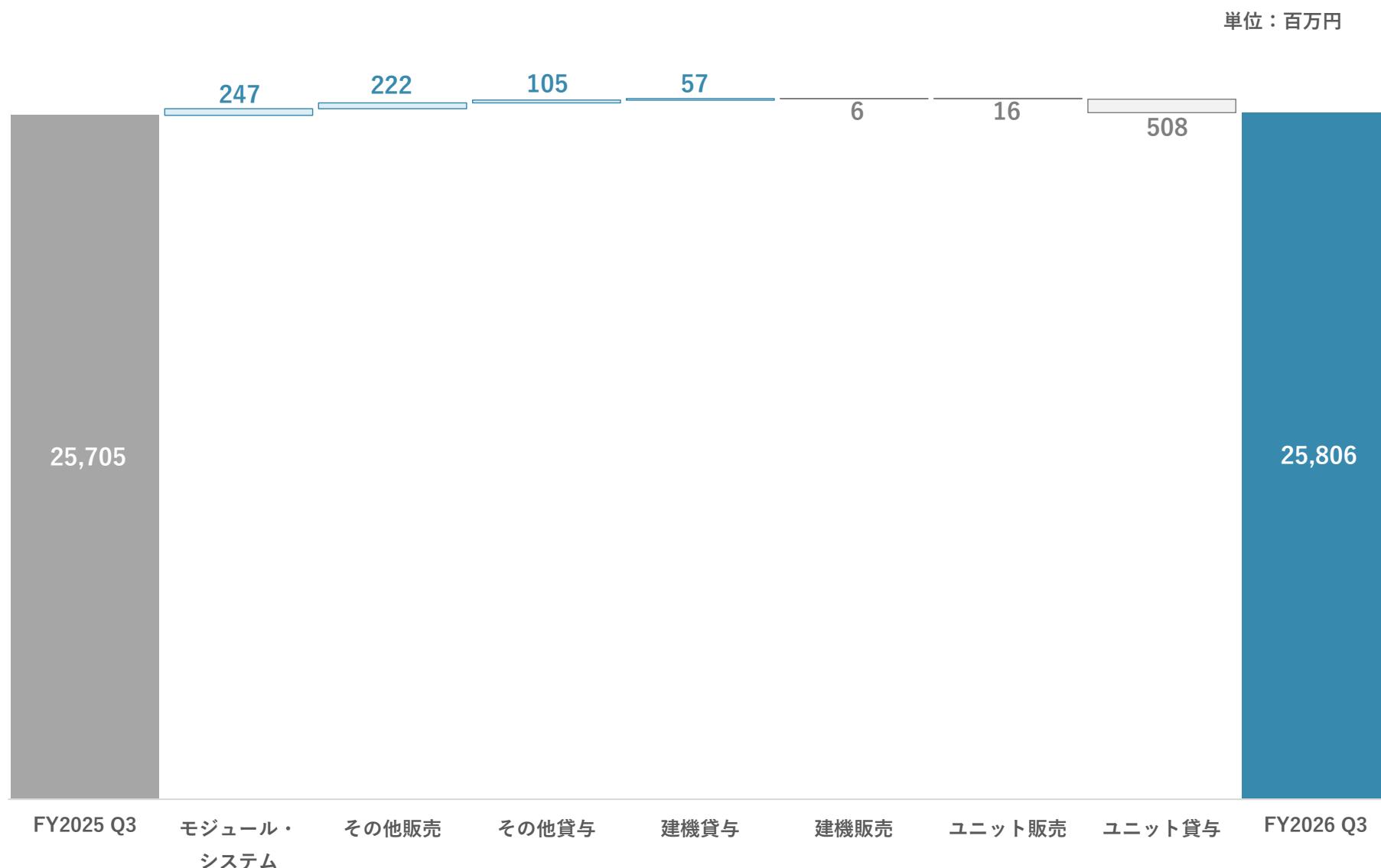
昨年に引き続き、需要拡大を見越した展示場の開設・リニューアルや価格転嫁、販売網を活用した新規設備投資の受注強化などに積極的に取り組んでまいりました。その結果、レンタルは稼働率低下は見られるものの、価格転嫁による売上増とユニットハウス販売・モジュール建築事業は前期並みに推移したことで、前年度における能登半島地震の応急仮設住宅による特需を補うことができ、売上は前期並みで推移しました。営業利益面においては、価格転嫁を進めていたこともあり、若干前期を上回りました。

当期純利益については、当中間会計期間で投資有価証券評価損を計上したことにより引き続き前期比マイナスとなっております。

	連結	単体	単体	YonY	
	FY2024 Q3 23年4-12月	FY2025 Q3 24年4-12月	FY2026 Q3 25年4-12月	増減	増減率
単位：百万円					
売上高	23,636	25,705	25,806	101	0.4%
売上総利益	9,659	10,137	10,376	239	2.4%
営業利益	3,012	3,143	3,188	45	1.5%
経常利益	3,346	3,554	3,791	237	6.7%
当期純利益 (※)	2,290	2,261	2,216	△45	△2.0%

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益を示す。

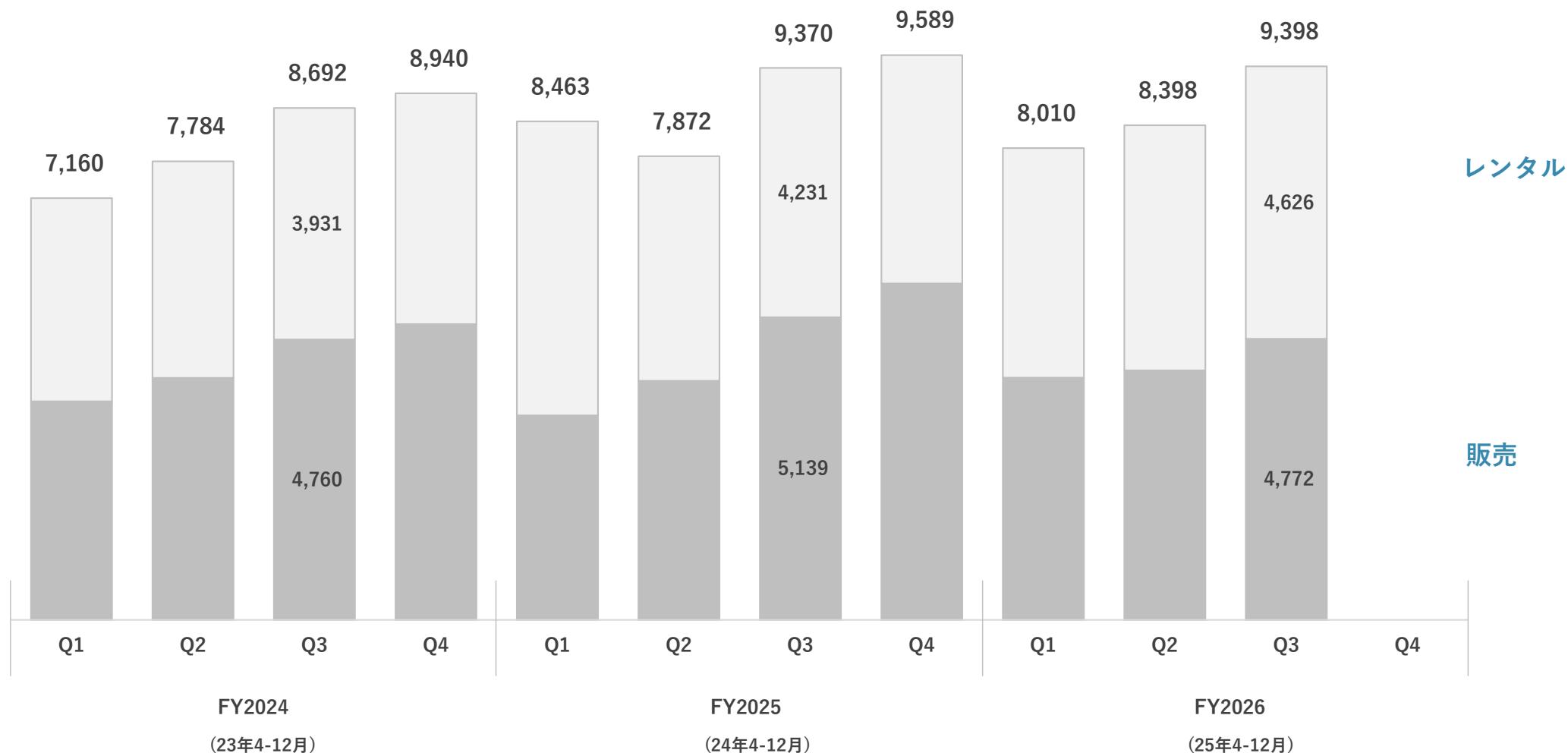
# 決算概況－要素別売上高増減



# 決算概況 – 四半期ごとの売上高推移

単位：百万円

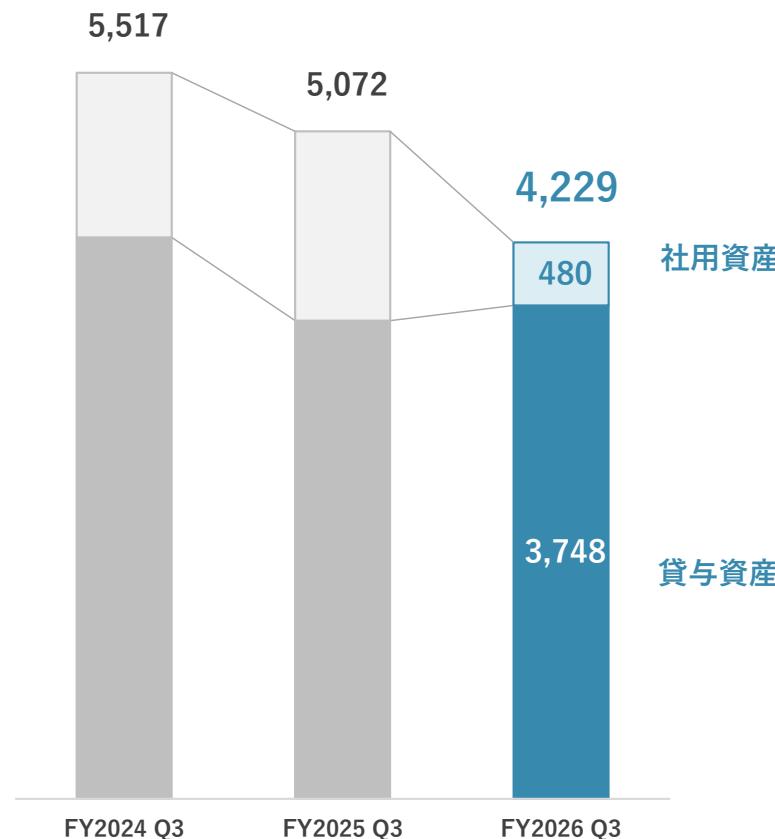
← 連結 → ← 単体 →



# 設備投資額と減価償却額

## 設備投資額推移

単位：百万円

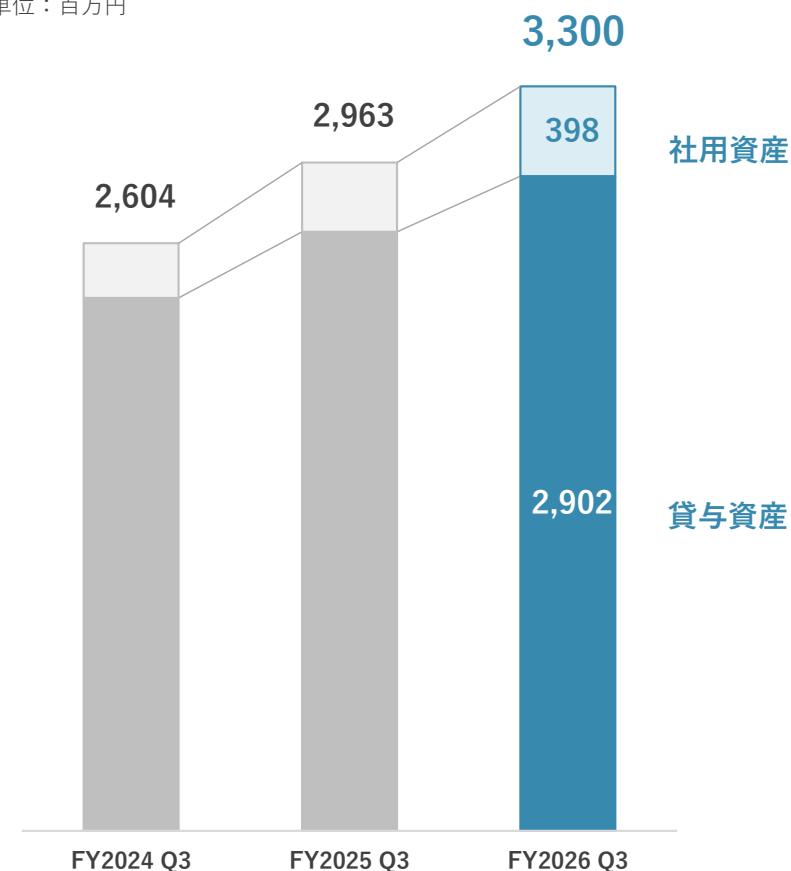


引き続きシェア拡大を目的とした貸与資産への投資を維持しました。

社用資産については、前期と比較し減少していますが、展示場拡大施策を継続し、新規出店・リニューアルの設備投資は積極的に計画を進めています。

## 減価償却額推移

単位：百万円



貸与資産の保有棟数増加により、減価償却費が増加。社用資産についても前年度までの積極的な展示場出店により増加しています。

**2026 年 3 月期 第3四半期**  
**決算概況 – セグメント別**

# セグメント別

単位：百万円	連結	単体	単体	YonY	
	FY2024 Q3 23年4-12月	FY2025 Q3 24年4-12月	FY2026 Q3 25年4-12月	増減	増減率
売上高合計	23,636	25,705	25,806	101	0.4%
ユニットハウス事業	19,332	21,612	21,417	△194	△0.9%
モジュール・システム建築事業	3,393	3,397	3,644	247	7.3%
建設機械レンタル事業	910	695	744	48	7.0%
営業利益合計	3,012	3,143	3,188	45	1.5%
ユニットハウス事業	2,573	2,689	2,719	29	1.1%
モジュール・システム建築事業	447	462	369	△93	△20.3%
建設機械レンタル事業	24	22	132	110	498.4%
全社消去	△32	△31	-	-	-

※前々年は、連結決算の数値です。

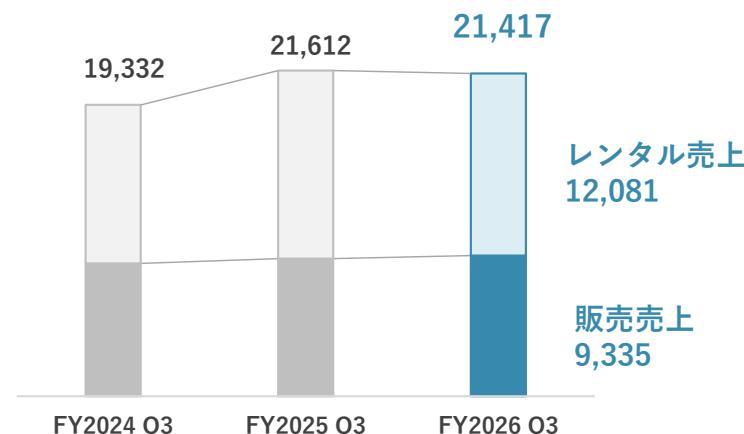
# ユニットハウス事業

販売においては、他社との差別化の為に展示場既存店舗においてはリニューアルを行ってまいりました。また、WEB広告やSNSを積極活用した宣伝や集客を引き続き推進してまいりました。新棟販売棟数減少については、原価高騰による価格上昇を背景に、新棟販売が減少する一方、中古販売数量は前年同期比で増加となりました。

レンタル売上では、自動車産業などの設備投資に多少の影響はみられたものの、官民共に設備投資やメンテナンス需要に応えるべくユニットハウスの増産を継続し、受注に強化してまいりましたが、前年度における能登半島地震の応急仮設住宅による特需を補うまでには至りませんでした。

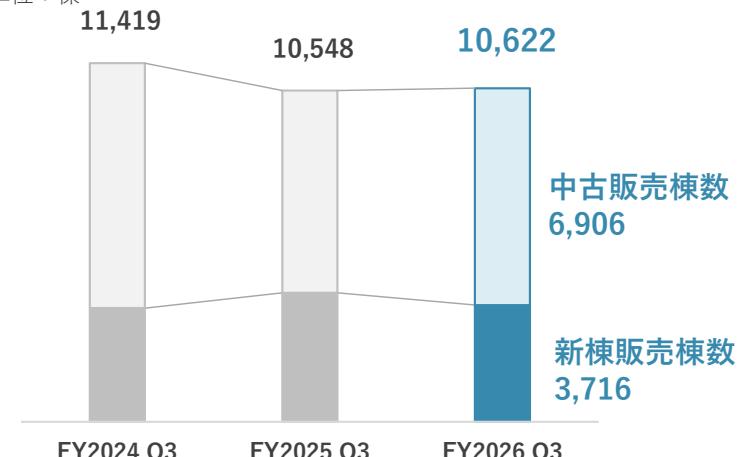
## 販売売上とレンタル売上

単位：百万円



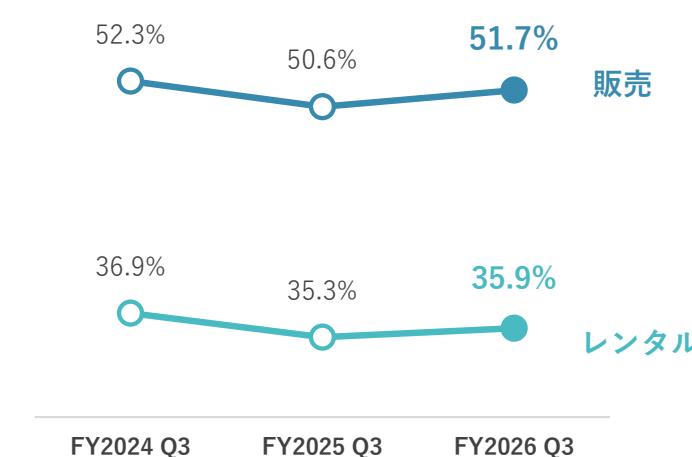
## 販売棟数

単位：棟



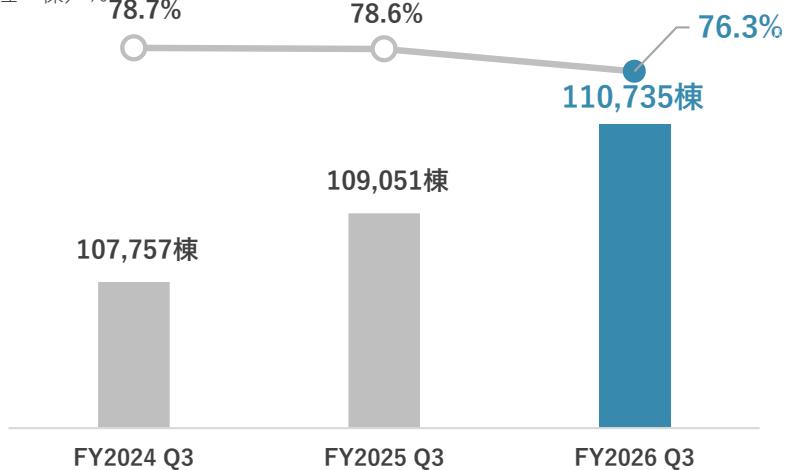
## 売上総利益率

単位：%

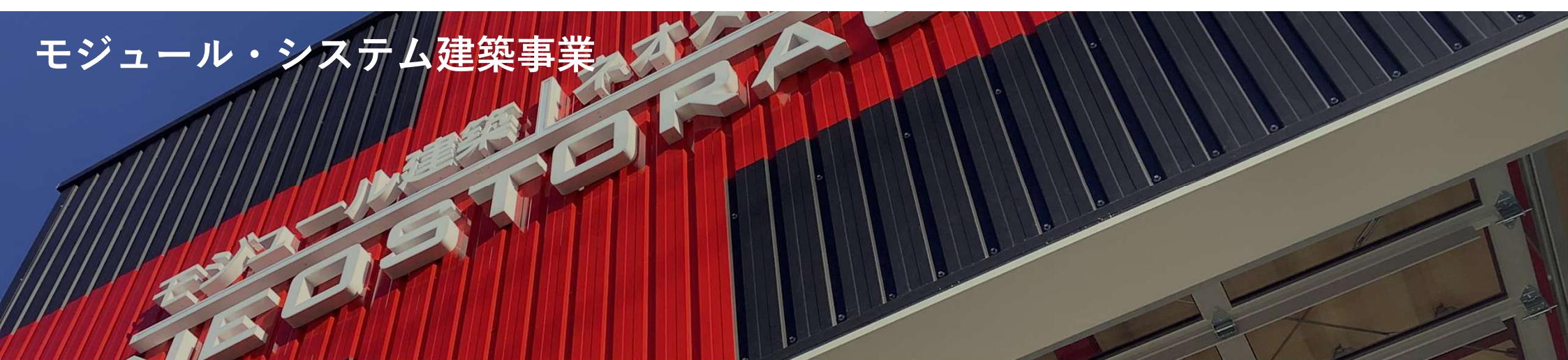


## 保有棟数と稼働率

単位：棟／%



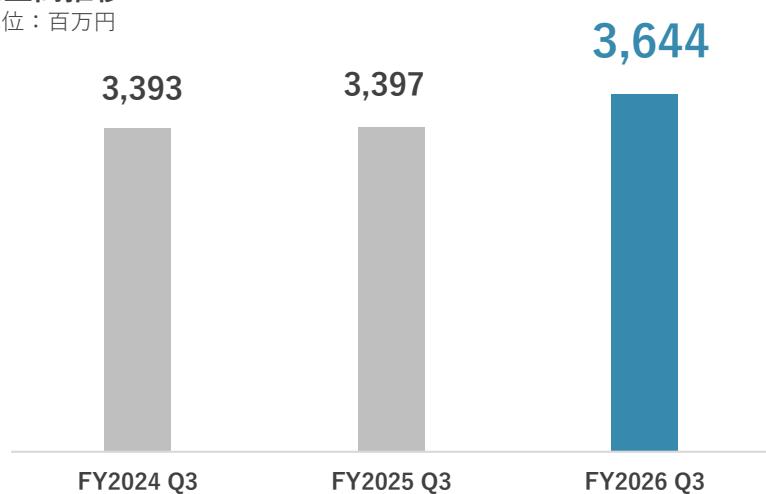
※前々年は、連結決算の数値です。



新規展示場の出店だけではなく既存展示場にもモジュール建築を展示しモジュールベース化することで、広範囲のエリアで、お客様に周知していただける環境を整えて受注を強化することを推進し売上高は微増となっています。  
売上総利益率については、現場における原価低減施策を推進しておりますが、資材・人件費高騰や大型物件の利益率の影響もあり、引き続き低下となりました。

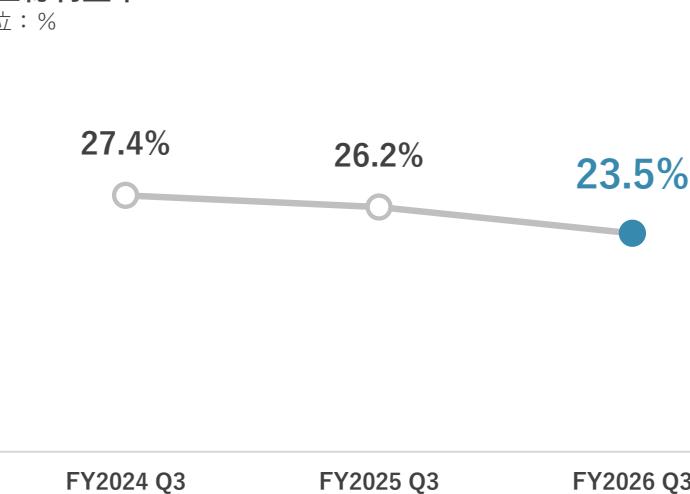
売上高推移

単位：百万円



売上総利益率

単位：%



※前々年は、連結決算の数値です。

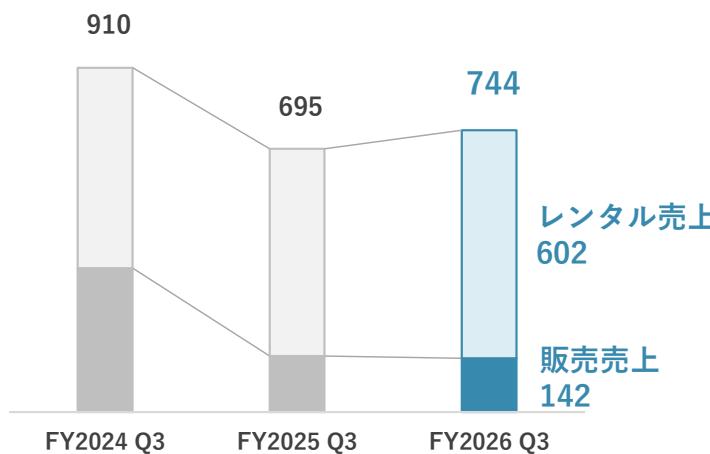
# 建設機械レンタル事業



北海道道南エリアの、北海道新幹線や農業土木工事関連工事なども継続しており、レンタル売上の增收要因となりました。また、売上総利益率については、環境対応の建設機械強化や減価償却費減少もあり、利益率上昇の要因となりました。

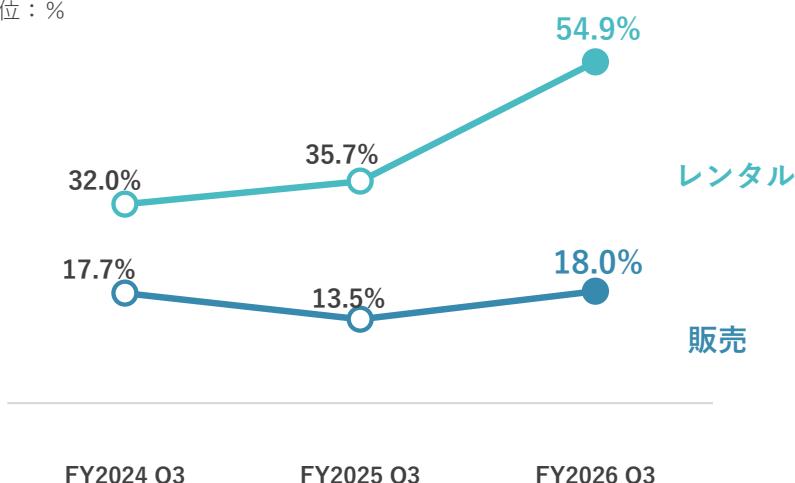
## 販売売上とレンタル売上

単位：百万円



## 売上総利益率

単位：%



※前々年は、連結決算の数値です。

2026 年 3 月期  
業績見通し

# 業績見通し

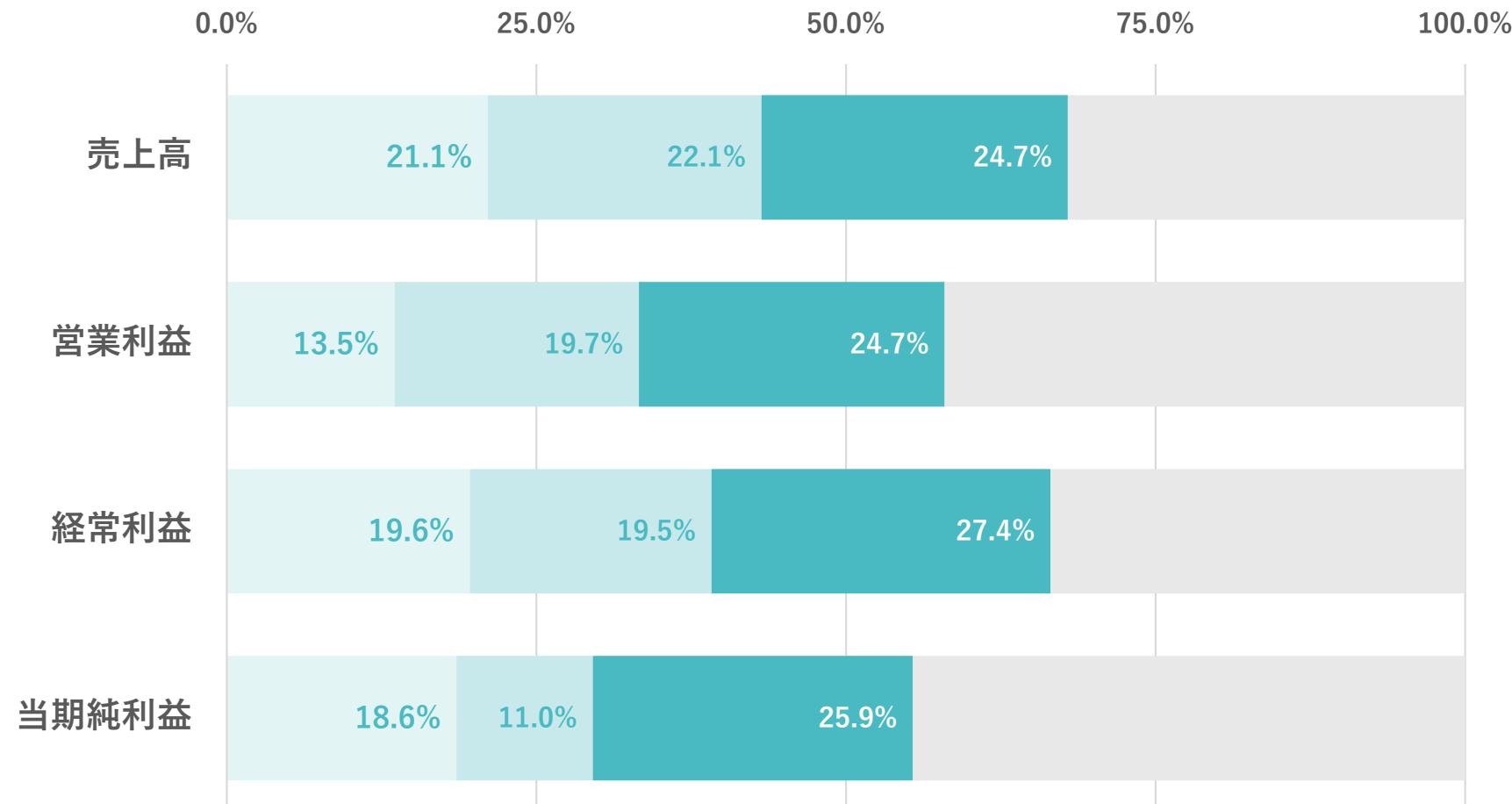
単位：百万円	連結	連結	単体	YonY	
	FY2024 23年4-3月	FY2025 24年4-3月	FY2026 25年4-3月	増減	増減率
売上高	32,576	35,294	38,000	2,706	7.7%
営業利益	4,241	4,299	5,500	1,201	27.9%
経常利益	4,643	4,803	5,700	897	18.7%
当期純利益 (※)	3,119	4,213	4,000	△213	△5.1%
総資産	66,876	69,758	70,000	242	0.3%
純資産	59,725	61,672	64,000	2,382	3.8%
自己資本比率 (%)	89.3	88.4	91.4	3.0pt	-
1株当たり純資産	3,800.91	3,946.26	4,070.00	123.74	3.1%

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益を示す。

# 業績見通し - セグメント別

単位：百万円	連結		連結		単体	
	FY2024 23年4-3月	FY2025 24年4-3月	FY2026 25年4-3月		YonY	
売上高合計	32,576	35,294	38,000	2,706	7.6%	
ユニットハウス事業	26,470	29,099	28,000	△1,099	△3.7%	
モジュール・システム建築事業	4,925	5,238	8,500	3,262	62.2%	
建設機械レンタル事業	1,181	956	1,500	544	56.9%	
営業利益合計	4,241	4,299	5,500	1,201	27.9%	
ユニットハウス事業	3,516	3,591	4,600	1,009	28.1%	
モジュール・システム建築事業	729	711	800	89	12.5%	
建設機械レンタル事業	40	40	100	60	150.0%	
全社消去	△45	△44	-	-	-	-

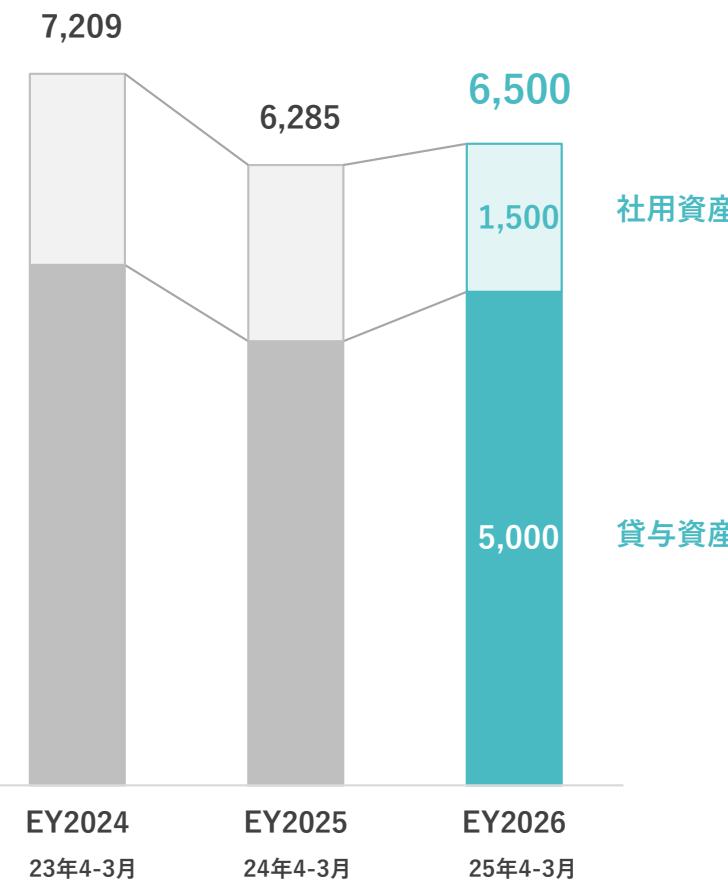
# 業績見通し－進捗



# 設備投資額と減価償却額

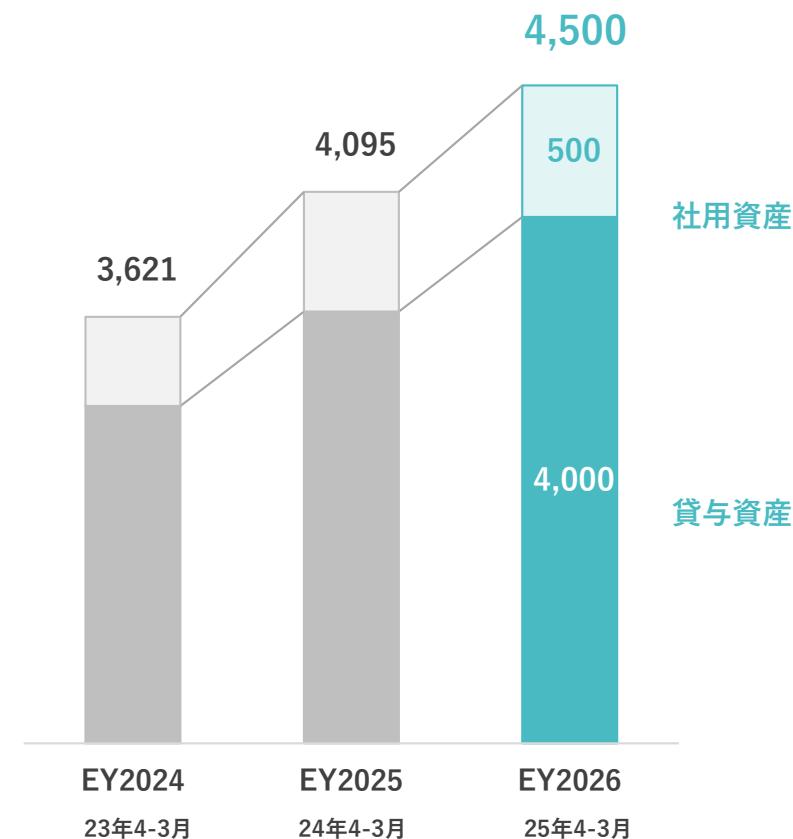
設備投資額推移

単位：百万円



減価償却額推移

単位：百万円



# 免責事項

この資料は、株式会社ナガワ（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

当資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。また、本資料には、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

以上を踏まえ、投資をおこなう際は投資家の皆様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

※詳細は、当社ホームページより  
開示情報をご参照ください。

株式会社ナガワ | IR情報

<https://group.nagawa.co.jp/ir.html>

